

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4967085号
(P4967085)

(45) 発行日 平成24年7月4日(2012.7.4)

(24) 登録日 平成24年4月13日(2012.4.13)

(51) Int.Cl.
B43K 27/12 (2006.01)

F I
B 4 3 K 27/12

請求項の数 3 (全 7 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2006-357295 (P2006-357295) (22) 出願日 平成18年12月18日(2006.12.18) (65) 公開番号 特開2008-149694 (P2008-149694A) (43) 公開日 平成20年7月3日(2008.7.3) 審査請求日 平成21年10月19日(2009.10.19)</p> <p>特許権者において、実施許諾の用意がある。</p>	<p>(73) 特許権者 505151911 富田 立郎 神奈川県藤沢市遠藤6190番地 (72) 発明者 富田 立郎 神奈川県藤沢市遠藤6190</p> <p>審査官 砂川 充</p>
---	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カード型複数色ボールペン

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

カード型をした複数色ボールペンであって、プラスチックやゴムなどの弾性を持つ素材より本体が成り、その長辺となる2辺上にそれぞれ異なる色のボールペンの芯を取り付けたものであり、該ボールペンはその先端部分をそれぞれ本体より突出させて固定され、該本体の形状は両ボールペン芯先端部にはさまれる側の短辺はU字型またはV字型に切り取られた形状をなし、もう一方の短辺側には1箇または複数箇のスリット付きの穴部を設けたことを特徴とするカード型複数色ボールペン。

【請求項2】

メモ用紙又は手帳とセットになった請求項1のカード型複数色ボールペン。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載したカード型複数色ボールペンの本体に磁性を持たせたカード型複数色ボールペン。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明品はカード型をした複数色ボールペンであり、単体としても使用できるが、メモ

帳やシステム手帳と組み合わせることにより、しおり代わりに使え素早くメモがとれる薄型の筆記用具に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来のカード型の筆記用具には次のようなものがある（特許文献1より特許文献5を参照）また従来のメモ帳と筆記用具が一体となったものには次のようなものがある（特許文献6より特許文献8を参照）および通常の手帳やシステム手帳。ボールペンとしおりが一体になった物には次のようなものがある（特許文献9、10参照）

【特許文献1】特開2003 48395

【特許文献2】特開平11 78343

【特許文献3】特開平10 44672

【特許文献4】特開平6 143887

【特許文献5】実用新案公開平5 60880

【特許文献6】特開平11 78365

【特許文献7】特開2000 289386

【特許文献8】登録実用新案第3012287号

【特許文献9】特開2002 316491

【特許文献10】特開2000 - 43446

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

本発明の目的は様々の状況下において素早くメモを取ることができる簡便な筆記用具を提供することにあるが、携帯に便利な小型の筆記用具であればよいというだけなら様々なものが考案されている。特許文献1より特許文献5に示すように開く、折る、丸める、スライドさせるなどして握りやすい形にしてから筆記するという形であるが緊急に何かを書きとめたい場合はこのような動作は面倒でありまた用紙は別に用意をする必要がある。用紙と筆記用具は対をなすものであると言う観点から特許文献6より特許文献8に示すように筆記用具の中に紙をロール状に巻いたり小さく折り畳んだりして格納する方式が考案されているが、迅速さが要求される中では適さないように思える、また用紙があまりに小さいとメモできる量にも問題がある。特許文献9、10にしおりと一体型となる筆記用具があるが携帯中に落ちたりしてなくす心配もありまた単体で筆記等に使用するようなときはしおりの部分が邪魔をして書きづらい等の欠点がある。通常の筆記用具を装着した手帳は多くの種類が販売されているが予定がいっぱいある日などは規定の枠の中に書ききれない、また用紙を追加することや順番を入れ替えることなどはできないなどの不具合がある。システム手帳であれば用紙の差し替えもできるし、付け足しもできるが、機能を付加する程全体は大きくなるので小型化には限界がありまた値段も割高である。以上これまでの現状では小型で携帯に便利で素早くメモできるような筆記用具に適切なものは見当たらなかった。本発明はこれらの問題点を解決するためになされたものでありしかも便利な複数色のボールペンであり一枚のカードにつき最大4色を使い分けることができる。

【課題を解決するための手段】

【0004】

カード型をした複数色ボールペンであって、プラスチックやゴムなどの弾性を持つ素材より本体が成り、その長辺となる2辺上にそれぞれ異なる色のボールペンの芯を取り付けたものであり、該ボールペンはその先端部分をそれぞれ本体より突出させて固定され、該本体の形状は両ボールペン芯先端部にはさまれる側の短辺はU字型またはV字型に切り取られた形状をなし、もう一方の短辺側には1箇または複数箇のスリット付きの穴部を設けたことを特徴とするカード型複数色ボールペンと、リングで紙片を束ねる構造のメモ用紙や手帳とのセット。

10

20

30

40

50

【発明の効果】

【0005】

1. 小型にできるので胸のポケットのみならず携帯電話のストラップなどに吊下げること
も可能である。

2. カード型複数色ボールペンは本体1枚につき2色から4色のボールペンが装着可能で
ある。

3. 書きたいページにカード型ボールペンを挟むことによりしおり代わりにになるので次回
は即座に希望のページを開くことができる。

4. カード型複数色ボールペンはワンタッチでメモ帳などに取り付け取り外しができノック
一つすることなく書き始めることができる。

5. 単語カード様式のメモ帳を利用しているので用紙の順番を差し替えたり外したり新たな
白紙を付け加えたり他人とカードの交換などのことが簡単にできる。

6. 携帯するだけでなく置き場所としては家の電話機の横に置く、磁石で冷蔵庫などに張
り付けておく、車内のダッシュボード上に、食卓や玄関にメッセージとして見開きで置い
ておくのもよい。

7. カード型複数色ボールペン単体では小型であるので名刺ホルダーの中に名刺とともに
入れたり、財布の中や定期券入れの中に入れたりができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0006】

図3は本発明品の詳細図でカード型3色ボールペンの例である。番号2, 4, 5はそれ
ぞれ異なる色のボールペンの芯であり、プラスチックやゴムなど弾性を有する素材で出来
た本体1の両サイド長辺に接着や圧着またはテープなどの方法で取り付けられている。本体下
部の短辺を番号3に示すようにU字型またはV字型に切り込むことにより本体を握りやす
くなると同時にボールペン先の視界が開けて文字などを書きやすくなる。本体1の厚みは
ボールペン芯の直径と同等か大きく超えないようにすると全体を薄くできる。本体上部に
リング用の穴6及び短辺よりそれに至るスリット8と面取り部7を設ける。本体をリング
に装着する場合はこの部分をリングに直接押しつけることによりスリット8の周辺部分
はたわみ、リングは穴6に達し装着することができる。外すときには上方向に引き上げれば
スリット8の周辺は装着するときと逆にたわんで容易にはずすことができる。図ではこの
部分が二重になっているが一重でも構わない、二重であると片方が壊れても脱落するこ
とはないのでなくす危険性は少ない。本体の中心部は空洞でもよいが外からインクの色が
すぐ分かるように色付けしたスペーサーや写真をはさんだりマグネットを仕込んだり
できる、但しリング用穴周辺はたわむ必要があるためにこの部分のスペーサーは取り除いて
おく。図2に実際カード型2色ボールペンをメモ帳にセットした例を示すが、システム手帳
はこのリングが複数連なったものと考えられるので図7に示すものが適当であり小型とは
ならないがシステム手帳の機能性は向上すると考えられる。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】カード型2色ボールペンの使用状態図

【図2】カード型2色ボールペンをメモ帳にセットにした例

【図3】カード型3色ボールペンの詳細図

【図4】カード型2色ボールペンの正面図

【図5】カード型3色ボールペンの正面図

【図6】カード型4色ボールペンの正面図

【図7】システム手帳等用カード型3色ボールペンの正面図でありリング用の穴及びスリ
ットなどが2箇所付いている

【図8】カード型3色ボールペンでスリムなタイプの正面図

【図9】メモ帳をホック又は面ファスナー式のバンドでとめた例

【符号の説明】

10

20

30

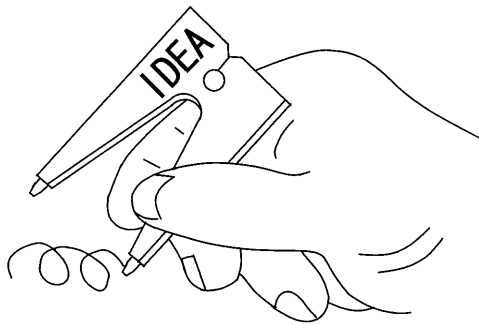
40

50

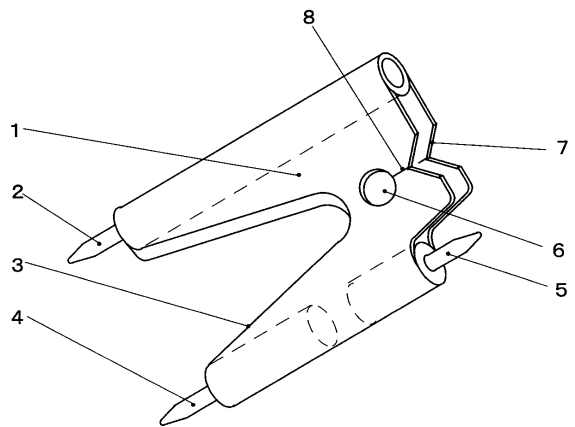
【 0 0 0 8 】

- 1 は本体
- 2 は第 1 ボールペン
- 3 は V 字型の切り込み
- 4 は第 2 ボールペン
- 5 は第 3 ボールペン
- 6 はリング用穴
- 7 は面取り部
- 8 はスリット
- 9 はリング
- 1 0 はメモ用紙

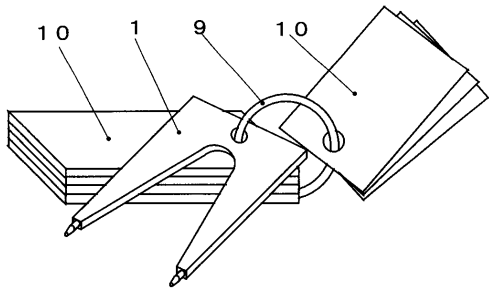
【 図 1 】



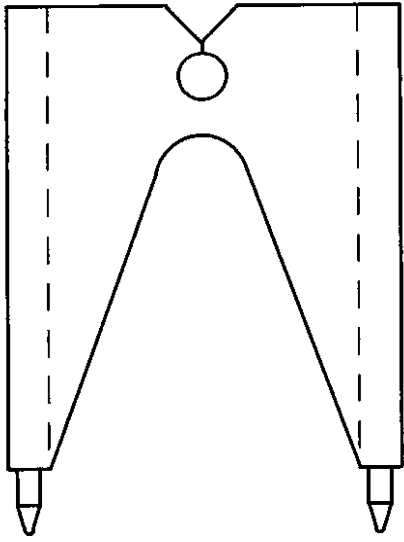
【 図 3 】



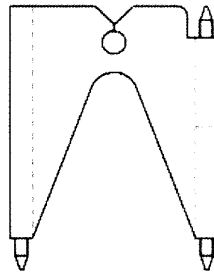
【 図 2 】



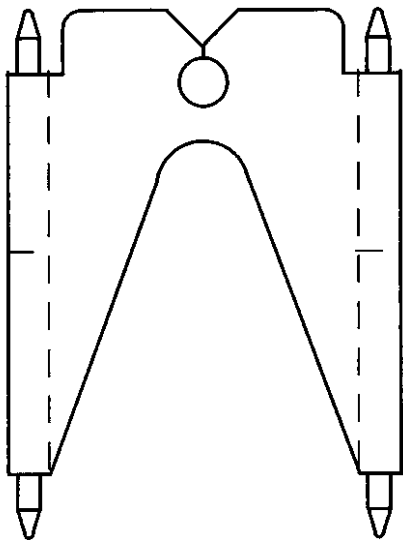
【 図 4 】



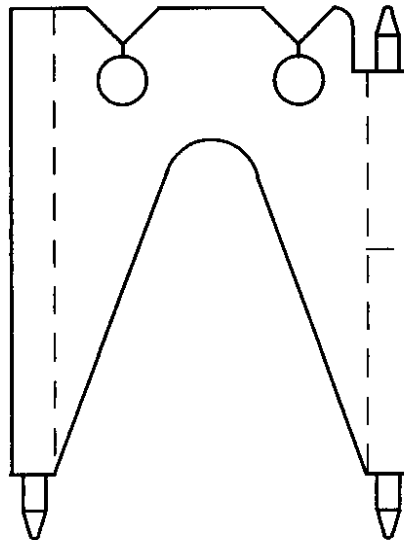
【 図 5 】



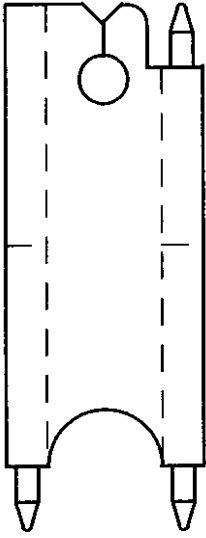
【 図 6 】



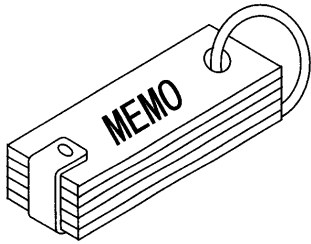
【 図 7 】



【 8 】



【 9 】



フロントページの続き

- (56)参考文献 実開昭57-179987(JP,U)
実開平01-116691(JP,U)
実開昭51-104022(JP,U)
実開平02-046683(JP,U)
特開平11-139042(JP,A)
実開昭58-185484(JP,U)
実開昭48-018238(JP,U)
実開昭63-84377(JP,U)
実開平2-8995(JP,U)
実開平2-8996(JP,U)
実開昭48-99230(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

- B43K 1/00 - 31/00
B42D 1/00 - 19/00
B42F 1/00 - 23/00